Web 演習の課題である「公欠システム」についてのヒント集です。

1. カレンダーコントロールについて

カレンダーの表示については、HTML5より存在するカレンダーコントロールを使うとらくちんです。

- 例) <input type="date" name="date">
- ↓こんな感じで表示されます

#### 公欠日



※ただし、エクリプスの内部ブラウザは HTML 5 に対応していないので、ただのテキストになります。動作確認するときは、FireFox やクロームなどで確認しましょう。

また、上記の例であればサーブレット側で入力情報を取得するのは

例えば、入力画面で 2019 年 10 月 1 日を選ぶと、変数 dateString には "2019-10-01" という形でハイフン区切りの文字列で値が格納されます。

### 2. 日付の変換について

ビーンズに格納するときに String→Date の変換が必要なります。

日付の変換は SimpleDateFormat を使うとできます。以下例です。

```
//文字列→日付の変換』

String dateValue = "2019-11-01";』

try{』

SimpleDateFormat sdf = new SimpleDateFormat("yyyy-MM-dd");』

Date date = sdf.parse(dateValue);』

}catch(ParseException e){』

//エラー時の処理』

}』
```

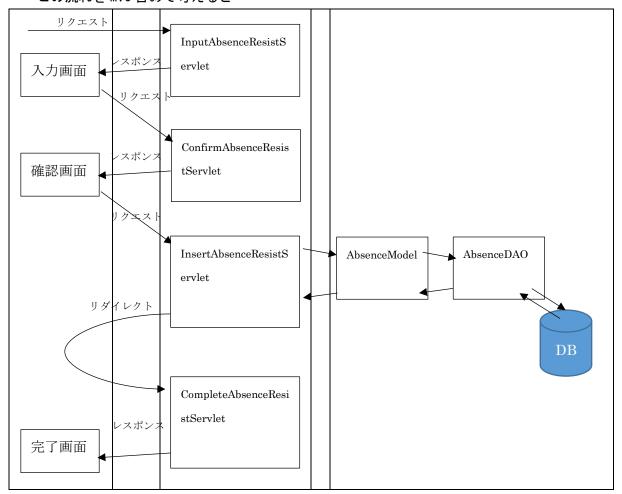
詳細は調べてみよう!

## 3. 登録処理の流れについて

登録の処理の画面遷移は以下のようになります。

登録画面→確認画面→完了画面

この流れを MVC 含めて考えると



DB に値を挿入するタイミングは確認画面で登録ボタンを押したとき、つまり InsertAbsenceResistServlet で行います。

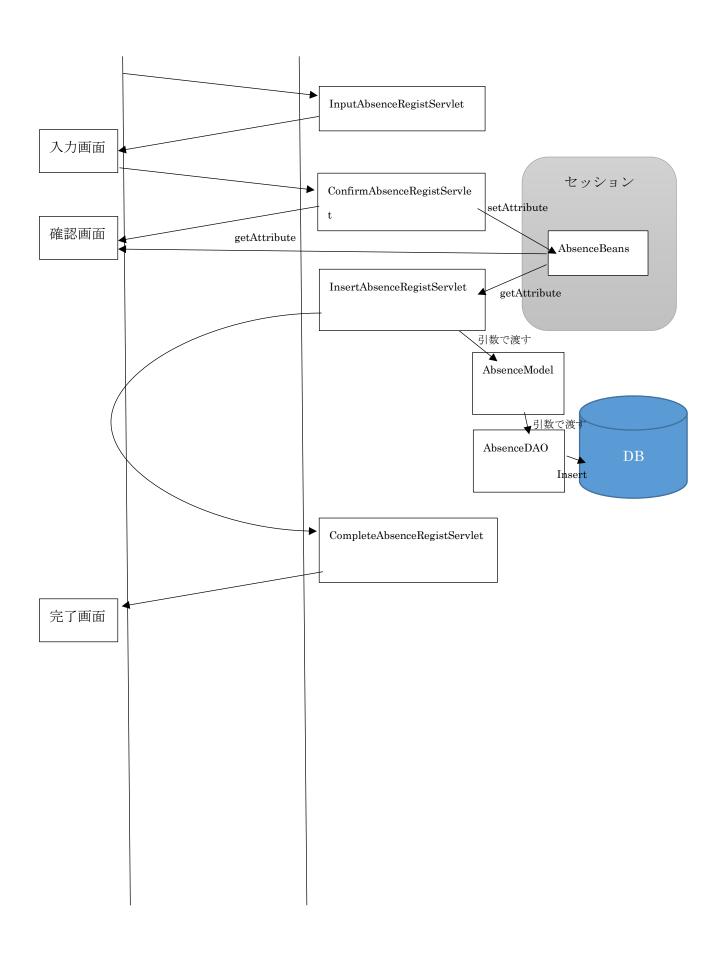
挿入するデータは最初の入力画面で入力した値です。言い方を変えると**入力画面で入力した値を完了画面表示直前で挿入**するのです

要するに、リクエスト(画面)をまたいで、入力した情報を持ちまわらなければなりません。

リクエストをまたいで情報を保持するときに使用するのは「セッション」でしたね。

そう、登録画面の流れはセッションを使用して実現します。

セッションを含めた流れを図にしたものは以下の通りです



# 登録処理のソースヒント

## ConfirmAbsenceResistServlet

```
BWebServlet("/absence_confirm") =
public class ConfirmAbsenceResistServlet extends HttpServlet { == }
    ®Overrided

protected void doPost(HttpServletRequest request, HttpServletResponse response)d

throws ServletException, IOExceptiond
        //文字列→日付の変換↓
try{↓
        absenceBeans.setAbsenceDate(date);

| catch(ParseException e) | absenceBeans.setAbsenceDate(new Date());
| absenceBeans.setAbsenceDate(new Date());
        //ユーザーIDを取得するためセッションから』
//ログイン情報を取得する』
         //ビーンズにuserId(学籍番号)をセット↓
        }...
```

### InsertAbsenceResistServlet

# AbsenceMode I

```
public class AbsenceModel {--
     * 公欠届の一覧を取得する(全権取得)』
     * Greturn#
   public List<AbsenceBeans> getList(){
   List<AbsenceBeans> list = null;
}
        AbsenceDao absenceDao = new AbsenceDao();↓
            //DB接続
           //一暫を取得。
        }finally{-
        return list;4
    <u>|</u>__
    /**-
     * 公欠届の新規挿入』
     * @param absenceBeans#
    public void insert(AbsenceBeans absenceBeans){
        AbsenceDao absenceDao = new AbsenceDao();↓
             //DB接続
            //情報を挿入する。
        }finally{』
//DB切断。
    }...
ار
ار{
```

# ○ログアウトについて

ログアウトはセッションを破棄すれば OK です

セッションを破棄するメソッドは、HttpSession が持っている invalidate メソッドを使用します。

また、ログアウト後はログイン画面に遷移するのが一般的なので、ログイン画面にリダイレクトします。

# 処理の手順としては

- 1. セッションオブジェクトを取得する
- 2. セッションを破棄するメソッドを呼び出す
- 3. ログイン画面にリダイレクト

となります

一覧表示について				
一覧表示についての流れは以下の通りです				